

ほけんだより 12月号

令和5年12月13日
小山市立豊田小学校 保健室

感染症に係る「意見書」「登校届」について

お子さんが感染症と診断された場合、学校まで連絡をお願いします。

学校保健安全法により、学校長の指示により「出席停止」となった場合は、原則「意見書」(医師の記入、証明書)、「登校届」(保護者の届け)の提出が必要となります。

手続きについて

- (1) 医師の診断により、学校伝染病(感染症)とわかった場合には、学校に連絡をお願いします。(下記参照) 学校では、受診病院、診断月日、症状、家族の状況等を聞き取らせていただきます。
- (2) 証明書(「意見書」もしくは「登校届」)は、小山市・下野市・野木町・上三川町の病院(医師会に加盟している病院)を受診した際には、病院から渡されます。それ以外の地域の病院を受診した場合には、学校から「証明書」を渡します。あお、病院に専用の様式がある場合には、そちらでも差し支えありません。
- (3) 完治し登校する際には、「意見書(医師の記入、証明書)」もしくは「登校届(保護者の届け)」が必要になりますので、必ず持参させてください。なお、「意見書」「登校届」は無料発行ですが、学校から渡される「証明書」は文書料(有料)がかかりますのでご了承ください。

医師からの登校許可がおりるまでは、出席停止期間です。欠席扱いになりませんので、本人の体力回復と蔓延防止のために、医師の指示を守りご家庭でゆっくり休養させてください。

医師の意見書該当の感染症

受診病院に用紙があり、医師が記入

- ① 麻疹(はしか)
※症状の改善が認められた段階で記入可能
- ② インフルエンザ A、B
※症状の改善が認められた段階で記入可能
- ③ 新型コロナウイルス感染症
※症状の改善が認められた段階で記入可能
- ④ 風疹(みっかばしか)
- ⑤ 水痘(みずぼうそう)
- ⑥ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
- ⑦ 結核
- ⑧ 咽頭結膜熱(プール熱)
※症状の改善が認められた段階で記入可能
- ⑨ 流行性角結膜炎
- ⑩ 百日咳
- ⑪ 腸管出血性大腸菌感染症(O157、O26、O111等)
- ⑫ 急性出血性結膜炎
- ⑬ 髄膜炎菌性髄膜炎

登校届該当の感染症

学校に用紙があり、保護者が記入

- ① 溶連菌感染症
- ② マイコプラズマ肺炎
- ③ 手足口病およびヘルパンギーナ
- ④ 伝染性紅斑(りんご病)
- ⑤ ウイルス性胃腸炎
(ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等)
- ⑥ 帯状疱疹
- ⑦ 伝染性軟属腫(水いぼ)
- ⑧ 伝染性膿痂疹(とびひ)
- ⑨ 頭ジラミ

インフルエンザの出席停止期間について

学校保健安全法施行規則の改正に伴い、「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児にあっては3日)を経過するまで」と変わりました。受診した医師の指示に従うようお願いします。



登校前の健康観察をお願いします

登校前の家庭でのお子さんの様子(昨夜の様子)で、体調不良や喉の痛み、咳き込み、食欲がない、嘔吐や下痢などの症状が見られた場合は、検温し体調の回復や病院受診をしてから登校するようにしてください。無理な登校は、症状を悪化させてしまい、お子さんもつらい時間をすごすこととなります。よろしくをお願いします。

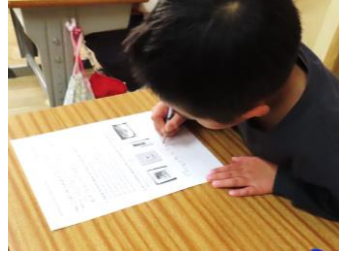
学級活動「薬物乱用防止の指導」

学級活動「薬物乱用防止の指導」では、担任、養護教諭、外部講師による指導を行っています。発達や発育にあわせた学習内容で積み重ねていきます。最後には、振り返りを行い、定着につなげています。

1年生「きゅうきゅうばこのなかみは」



正しい薬に使い方、校内の命を守る道具を確認



3年生「薬と食べ物のちがい」



薬と食べ物が体にどのように作用するか学習



4年生「禁煙ジュニアサポーターになろう」



小山市健康増進課の方によるたばこについての学習



6年生「薬物乱用防止教室 きらきら号」



栃木県警察の方による薬物乱用防止の学習



小山西高校生による 健康教室「歯科保健学習」

12月6日(水)1年生から3年生、11日(月)4年生から6年生に、小山西高校の生徒による健康教室「歯科保健学習」が行われました。本校の学年に合わせた歯科保健内容について、クイズやお話、歯やハブラシの模型を使い高校生の視点でわかりやすく指導していただきました。

また、高校生が作成した「歯みがきカレンダー」(12月、1月使用)のプレゼントもありました。「歯みがきカレンダー」には、歯に関する知識が書かれていて、毎日、歯と口の健康意識が高められていきます。

学校だよりでもお知らせしましたように、本校は「令和5年度 栃木県よい歯のコンクール」の小学校の部で入選しました。学校、家庭、地域と連携しながら歯と口の健康を保つことが賞につながったと感じています。

小山西高校生のみなさん、貴重な機会をありがとうございました。

